

令和 7 年度 事業評価書

行財政マネジメント第 3 部会

計画（PLAN）		実施（DO）		評価（CHECK）		改善（ACTION）		
令和7年度	目指すべき将来像	町組織の体制や業務の見直し、新たな技術やデータの活用により、業務の高度化・効率化を進め、予算・人員が限られる中でも、地域の課題解決や町民満足度の向上を目指します。		主な事業の内容	①コンビニ交付・オンライン申請システム・オンライン決済システムの導入 検討会議実施 ②DX推進計画及びロードマップの策定 ③LINEを活用した情報発信の強化、スマホ教室の開催（10回以上）		改善・対応策	令和7年度は、DX推進計画の策定を通じて、本町におけるDX推進の方向性や推進体制の整理を行うことができた。一方で、具体施策の実装や全庁的な定着については、引き続き改善・強化が必要である。 令和8年度は、策定したDX推進計画に基づき、コンビニ交付、書かない窓口、LINE活用等の具体策について、実装・運用フェーズへ移行する。 また、生成AIツールについても、業務効率化や職員負担軽減につながる新たな取組として、導入に向けた検討・実証・運用ルール整備を進め、行政業務への活用を推進する。 加えて、外部専門人材の知見も積極的に活用しながら、職員のデジタル活用スキル向上や実践的な業務改善を進め、DX施策の定着と実効性向上を図る。
	推進内容概要	DX化による利便性向上/LINEの活用充実 行政手続きの利便性向上、町のDXの推進方針の明確化、LINEを活用した情報発信の推進			目標値	①検討会議(コンビニ交付)12回 ②計画策定（R8.3） ③LINE登録3,552人、高齢者スマホ教室の開催（20回）		
	効果等	・住民サービス向上、住民満足度向上 ・業務の属人化防止 ・高齢者層への情報伝達の拡大、住民ニーズの把握						

計画（PLAN）		実施（DO）		評価（CHECK）		改善（ACTION）	
令和8年度	目指すべき将来像	町組織の体制や業務の見直し、新たな技術やデータの活用により、業務の高度化・効率化を進め、予算・人員が限られる中でも、地域の課題解決や町民満足度の向上を目指します。		主な事業の内容	①書かない窓口の導入検討（県事業を活用） ②コンビニ交付サービス導入（R9.3） ③LINE活用（オンライン申請・施設予約等）の導入検討 ④生成AIツールの導入（研修会実施含む） ⑤DX推進計画の進捗管理（ロードマップの修正）		改善・対応策
	推進内容概要	南知多町DX推進計画に基づき実施（住民サービスの向上・庁内業務の効率化と職員の働きやすさの向上・持続可能な行政運営の基盤整備） 書かない・行かない窓口推進、コンビニ交付サービス導入、LINE活用拡充、生成AIツール導入			目標値	①検討会議 5回 ②コンビニ交付サービス運用開始、広報4回（PR動画制作） ③検討会議 5回 ④補正予算措置、月10回以上利用率30％、研修会3回実施 ⑤検討会議 5回	
	効果等	住民サービスの利便性向上 庁内業務の効率化と職員の働きやすさの向上					